

## (5) 町にのこる古いもの

### ①町でたいせつにしているもの

古くからの<sup>れきし</sup>歴史をもつ山都町には、むかしからつたわっているたいせつなものがたくさんあります。町のあちこちにある古い<sup>たてもの</sup>建物やむかしのようすをつたえるものを調べてみると、そのころの人びとの生活や考え方がわかります。その土地のことにくわしいお年よりや、町の歴史を<sup>けんきゅう</sup>研究している人などに話を聞いたり<sup>みんぞく しりょうかん</sup>民俗資料館に行ったりして、わたしたちも調べてみましょう。



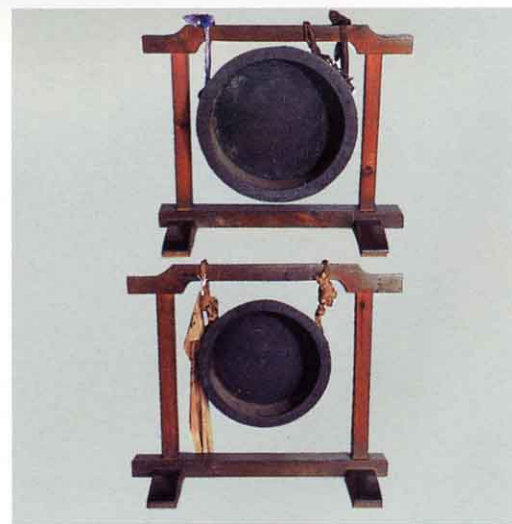
たてのほら きゅうしょうじ じゅういちめん かんざ おんぼさつざう  
館原・久昌寺の十一面観世音菩薩坐像



どうやま みやぎ ふじ おけ せん そゆざりじょう ほかもんじょ  
堂山・宮城不二男家の先祖讓状三軸外文書



たてのほら きゅうしょうじ しょうめんこんごう こうしんくようとう  
館原・久昌寺の青面金剛・庚申供養塔



てらうち せんぶくじ そうばん  
寺内・泉福寺の双盤